

機関誌

戦略

★日本人の戦略的思考力を高めるために★

第3号 特集「菅直人内閣の戦略的失敗」



石原莞爾



ナポレオン



クラウゼヴィッツ



フリードリヒ大王

日本戦略研究協会「戦略大学」

責任編集 北岡俊明

はじめに

本機関誌は、「菅直人内閣の戦略的失敗」について述べたものである。

我々は民主党を支持しない。しかし、総理大臣が、使い捨てライターのごとく、日替わり定食のごとく、替わることには、国益上、そして、国を愛する者として反対である。

一国のリーダーとは、そんな軽いものではない。一国のリーダーが、日替わり定食のように替わっていたら、この国の滅亡は時間の問題となる。しばらくは、菅直人に任せるより他にない。一国のリーダーを育てるのは、国民である。そして、国民もまたリーダーを育てる過程で、成熟した大人の国民として育つのである。政治家と国民が、共に育てこそ、はじめてデモクラシーである。

筆者は、昨年、桜の苗木を植えた。害虫を駆除し、台風や雪から守ってやり、育つのをじっと待った。そして、今年、小さな桜花が数輪咲いた。うれしかった。来年は、もっと大輪の花が咲くだろう。人も同じだ。じっくりと育てるより他にない。風雨は吹きまくるだろう。その雨風の 하나가、我が戦略大学である。菅内閣と民主党を遠慮なく叩く、日本のために。

愚かな蓮舫に170万人が投票するごとく、国民もまた愚かである。蓮舫の詭弁とパフォーマンスに引っかからないために、国民もまた知的鍛練を怠らず、政治的に成熟しなければならない。

18万人の山梨県民が、日教組出身の売国奴・輿石東に投票した。政治家が売国奴ならば、国民もまた売国奴である。

蓮舫と輿石東、衆愚政治家と左翼政治家、この二つが同居しているのが、民主党である。日本国が溶けて流れるのは当然である。

本論文集は、愚かな民主党と愚かな菅内閣を批判し、蓮舫的なるものと、輿石的なるもの、この両者を駆逐することを目的とする。なぜならば、この二つこそが日本を滅亡させる元凶だからだ。

本論文は、「戦略大学」と「ディベート大学」の会員が執筆した。ここに名前を記し、御礼と感謝を申し上げたい。

青木 恒 長谷川賢二 押田信昭 竹内勇人 正木隆 江原裕 塚越幹夫
金井健司 小出大和 柳澤賢治 宇野英明 黒崎 浩 辻 俊昭

また平素から、ご支援・ご指導をたまわっている北岡正敏・神奈川大学工学部教授には、心から御礼を申し上げます。

平成22年8月1日

「戦略大学」&「ディベート大学」主宰 北岡俊明

目 次

ギブ・アンド・ギブの精神とは何か	3
何が日本の政治を劣化させたのか（北岡俊明）	4
あなたが総理になったら、日本はもっと悪くなる（青木恒）	16
経済、軍事オンチの菅内閣に明日はない（長谷川賢二）	18
「綱領」なき民主党の迷走は続く（押田信昭）	21
「国のかたち」を変えられるか（竹内勇人）	25
民主党も、自民党も、みんなの党も、すべてダメ（正木隆）	27
日本国民よ！民主党の欺瞞に気づけ！（塚越幹夫）	31
ダメ菅、イ菅、もうア菅（江原裕）	35
将来不安をどこまであおるのか（小出大和）	38
菅直人内閣の経済政策で遠のく「日本の新成長戦略」（柳沢賢治）	39
菅政権を立て直す方法（宇野英明）	41
菅総理は「第三の道」がお好き（黒崎浩）	43
三兎を追って国滅ぶ（辻俊昭）	45
エピローグ	47
追伸・辻元清美という詐欺師	48
過去の著作	51